

# 令和6年度地域防災リーダー育成講座「紀の国防災人づくり塾」カリキュラム

【田辺市会場】和歌山県立情報交流センターBig・U

		第1時限目	第2時限目	第3時限目	第4時限目	第5時限目	第6時限目
第1日	10月27日(日)	10:00~10:20	10:20~12:20	13:20~14:50	15:00~16:30	16:40~17:40	
		開講式 オリエンテーション	和歌山県の防災対策  県 危機管理局	和歌山県沿岸をくり返し襲う津波について  国立研究開発法人 産業技術総合研究所 連携推進室 国内連携グループ長 宍倉 正展	災害を迎え撃てる地域共助力の向上  一般社団法人ADI災害研究所 理事長 伊永 勉	災害医療  有田市立病院 病院長 島 幸宏	
第2日	11月10日(日)	10:00~11:30	11:40~12:40	13:40~14:40	14:50~18:20		
		防災と減災のむらづくり・まちづくり  和歌山大学 システム工学部 准教授 平田 隆行	和歌山県の住宅耐震化対策 県 建築住宅課  家具類の転倒防止対策 県 危機管理局	和歌山県の洪水・土砂災害対策  県 河川課 県 土砂災害啓発センター	津波避難・避難所運営の ワークショップ  県 危機管理局		
第3日	12月1日(日)	10:00~11:30	11:40~12:40	13:40~14:40	14:50~16:20	16:20~16:30	16:30~17:30
		災害時要配慮者の避難支援  阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター 研究員 山崎 真梨子	災害時のこころのケア 県 精神保健福祉センター  性の多様性について 県 多様な生き方支援課	津波のメカニズムと 南海トラフ巨大地震について  国立和歌山工業高等専門学校 教授 小池 信昭	和歌山県の気象特性と防災情報  和歌山地方気象台 次長 岡本 人臣	閉講式  紀の国防災人づくり塾修了証授与	防災士資格取得試験  (申込者のみ)
予備日	12月22日(日)						

田辺市会場（和歌山県立情報交流センターB i g ・ U）

	講座名	所属等	講師名	講座概要
10月27日(日)	1 開校式 オリエンテーション	県 危機管理局 防災企画課		
	2 和歌山県の防災対策	県 危機管理局		南海トラフ地震などの地震・津波対策を中心に、和歌山県が進めている防災対策の取組について説明します。
	3 和歌山県沿岸をくり返し襲う津波について	国立研究開発法人 産業技術総合研究所 連携推進室 国内連携グループ長	穴倉 正展	和歌山県沿岸は数千年以上もの大昔から、くり返し地震と津波に襲われてきました。その痕跡は現在でも沿岸の地形や地層に残されています。つまり、その痕跡を丹念に調べていけば、過去の地震や津波の実態を解明することが出来るのです。過去の現象を明らかにすることは、将来を予測する上でとても役に立ちます。本講座では最新の調査結果から明らかになった和歌山県沿岸の津波の歴史を紹介し、将来にどのように活かしていくべきかお話ししたいと思います。
	4 災害を迎え撃てる地域共助力の向上	一般社団法人 ADI災害研究所 理事長	伊永 勉	能登半島地震は、大量の集落の孤立、停電と断水の長期化、遠地への二次避難等、和歌山県にとっても他人ごとでない課題を提起しました。ただ、台湾地震の津波では石垣島等で1万人以上の方が素早く高台に避難したという住民の危機意識の高さが話題になったように、南海トラフ地震に備えて、住民の自助力と地域の共助力の高さが、災害の犠牲者を減らす原点であり、災害を迎え撃てる地域防災力の強化に繋がる事例や教訓を紹介いたします。
	5 災害医療	有田市立病院 病院長	島 幸宏	大規模な災害などで、突然かつ同時に多数の傷病者が発生したとき、いかに効率的かつ適切な医療を提供していくのか。災害発生時の緊急医療対応についてお話しします。
11月10日(日)	1 防災と減災のむらづくり・まちづくり	和歌山大学 システム工学部 准教授	平田 隆行	大災害からどのように立ち直るのか、予測される大災害にどのように備えるのか…。災害とまちづくりの歴史、被災して得た教訓、そして復興まちづくりについてお話します。阪神淡路大震災では被災直後の街の様子を、復興まちづくりでは、北但地震(城崎)や、東日本大震災、紀伊半島大水害など各地の事例を紹介いたします。「災害文化」や「事前復興」をキーワードに、和歌山での防災まちづくりを考えていきます。
	2 和歌山県の住宅耐震化対策	県 県土整備部 建築住宅課		地震に備えた住宅の耐震化の必要性を説明するとともに、耐震診断と耐震改修の方法及び支援制度を説明します。
	家具類の転倒防止対策 ～家具固定のイロハ～	県 危機管理局 防災企画課		大きな地震が発生すると家具は凶器と化します。家具類の転倒による被害を減少させるため、その必要性や正しい固定方法等の知識や技術をお話します。
	3 和歌山県の洪水・土砂災害対策	県 県土整備部 河川課、土砂災害啓 発センター		和歌山県県土整備部で実施している防災・減災対策の概要や、水害や土砂災害から身を守るためのポイントについてお話します。
	4 津波避難・避難所運営のワークショップ	県 危機管理局		和歌山県オリジナルゲーム「さいちゃんの災害避難ゲーム」をプレイし、グループで話し合います。
	5 津波避難・避難所運営のワークショップ	県 危機管理局		
12月1日(日)	1 災害時要配慮者の避難支援	阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター 研究員	山崎 真梨子	高齢の方、障害のある方や乳幼児など、災害発生時の避難に際して特に支援を要する要配慮者(避難行動要支援者)に焦点を当てて、地域の避難対策を検討する上で重要な課題について考えていきます。
	2 津波のメカニズムと南海トラフ巨大地震について	国立和歌山工業高等 専門学校 教授	小池 信昭	東北地方で甚大な被害を起こした大津波について、その被害のメカニズムを解説します。また、南海トラフの巨大地震の想定モデルについて、なぜそのような大きな想定になったのか、その経緯を説明します。
	3 和歌山県の気象特性と防災情報	和歌山地方気象台 次長	岡本 人臣	和歌山県は、頻繁に大雨による浸水害、土砂災害、洪水害が発生します。災害をもたらす自然現象の基礎知識、平成23年の台風第12号・平成30年7月豪雨・平成30年の台風第21号等による事例を紹介し、和歌山県の気象特性についてお話します。また、住民避難に資するよう警戒レベルと対応させた「キキクル」など防災気象情報の活用についてご説明します。
	4 災害時のこころのケア	県 精神保健福祉セン ター		災害発生後、被災者は被災のショックや重大なストレスを受け、通常とは異なる心身の状態を経験します。被災者の心理状態の特徴と被災後の心のケアについての理解を深めます。
	性の多様性について	県 共生社会推進部 多様な生き方支援課		性の多様性に関する基礎的な知識や、性的少数者の方々が抱える悩みや困りごとなどについて説明します。
	5 閉講式 紀の国防災人づくり塾修了証授与	県 危機管理局 防災企画課		
6 防災士資格取得試験 (申込者のみ)	日本防災士機構			